



組合 組工業 板金 愛知 県
会 委員 報 廣 行 発
山 北 区 和 昭 市 屋 名
466-0006 〒 3-8-6
1226-732 052 電 話

第二十三回 全国建築板金競技大会

平成十三年二月十・十一日
に静岡県富士市「富士教育訓
練センター」において第二十
三回建築板金競技大会が開催
されました。

愛知県代表選手は「技能競

技の部ZIC」高柳信悟君・
砂塚耕二君「建築技術の部N
YAC」宇野勝義君・片山匡
裕君の四名で総勢四十六名が
参加しました。当地は積雪も
三十センチほど残り気温も低

めでしたが地元の人々も驚くほ
ど富士山が良く見え感激しま
した。受付終了後、開会式・
記念撮影・事前説明後は夕食
までの時間を宿泊部屋で過ご
しました。同時期に親組合の
建築板金基幹技能者研修があ
り夕食を共にして明日に備え
ました。

大会当日は、午前8時競技
開始の合図で競技大会が始ま
りました。(愛知は付添い5
名・応援3名で大会出場選手
を応援)応援といってもただ
見守る事しか出来ませんが、
真剣な取組みは伝わって来ま
す。NYACでは直接見るこ
とが出来ませんが、ZICで
は時間の経過と共に形が出来

5分前の合図のころには作品
が机に並び選手の顔も前日と
は違いやさしくなり競技終了
となりました。

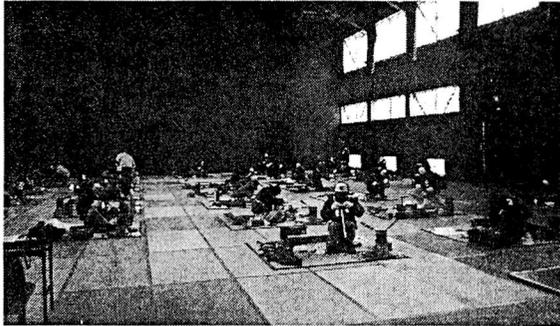
開会式では野溝青年部長あ
いさつ・鈴木青年部担当理事
講評・勝又理事長所感と進み
勝又青年部副部長の閉会の辞
で競技大会が終了し、富士山
をバックに記念写真を撮り会
場を後にしました。

今回は研修施設を利用させ
ていただき良い経験が出来ま
した。そして、選手の方こそ
労さまでした。また、関係各
位のご協力有難う御座いまし
た。

青年部部长 岩崎



富士山をバックに代表選手4名



競技大会の模様



修了式の模様

明日のために

明けて二〇〇一年、二十一
世紀になった。大東亜戦争よ
り産業一直線に突き進んで来
た日本丸も、主エンジンの故
障でスピードが落ちた。もし
て十有余年が過ぎた。その間
も、エンジンの修理は続けら
れていた。しかし必死(?)
の努力にもかかわらず元の出
力には出ないままである。加え
て、舵の動きもスムーズでな
くなり、燃料も大量に消費す
るばかりである。五十五年製
というから、もう半世紀近く
にもなる。オーバーホールも
二・三度というから無理もな
い話かも知れぬ。ここらで環
境に優しく、クリーンなエン
ジンに、ボディも少し小型
化し、身軽にする時期になっ
たのでは……。

おりしも、地球は傷みつつ
ある。人口の爆発的增加によ
って、食料・飲料水の不足
が目前に迫っている。二〇三
五年には、世界の人口は七〇
億人に達する。その時、全ア
ジアで、六〇七〇の人々が食
物を口に出来なくなるとい
う。様々な因による地球温暖化の
影響もあって、氷河は溶け始
め、森林の伐採、エルニーニョ
等も加わり、本来降らない所
にも大雨・大雪が降りその被
害は、大きくなっている。又
発展途上国に於ては、外貨の
獲得の為、産業優先、環境一
の次と思える事もあるようだ。
かつて、日本もそうした事
があり、公害と言われ、現在
でも多くの人達がその病に苦
しんでいる。他の国々も、そ
れを教訓として、又、先進技
術のある国は、そのノウハウ
を提供し、そうならない為の
努力をすべきではないか。せ
かくの大湖・大河も、産業廃
水のたれ流し、農薬等の浸透
により、飲料水はもとより、
魚・植物に至るまで大きな影
響が出て来ている。

英国の宇宙物理学者ホーキ
ンス博士は、後五〇〇年の間
に人類は滅亡すると言われた。
これらの事実を総合的に判断
すれば案外早いかもしれない。
そうならない為に、未来の我々
の子孫の為に、この地球を、
美しいままで、安心して人の
住める星として、残さなけれ
ばならない。二十世紀から二
十一世紀にかけて、激動の世
紀に生きるチャンスを与えら
れたのだから。人と、地球の
未来のために。

知立 齋藤

岡崎板金工業組合 12年度通常総会

2月25日岡崎レク・ワールドに於て、平成12年度通常総会が開催された。

定刻の2時開会、高柳組合長が一年を総括され、組合員の一層の協力を、積極的な組合への参加を呼びかけられた。優良従業員表彰では(有)柳板金工業の片山匡裕様が表彰された。議案審議では12年度事業報告、会計監査報告、13年度事業計画及び予算案が発表された。

今年度は役員改選の年度であり新役員が発表された。組合長は再任の高柳一男氏、副組合長には4名の方が選任された。内山英臣氏、棚山誠一氏、戸松征孝氏、加納重幸氏である。会計には永らく岡板の会計に従事された鈴木二郎氏が退任され、久世明男氏が新任となった。書記長には山内和夫氏が新任された。尚、以上の審議は出席者48名、委任状11名によりすべて承認された。来賓挨拶では梶板理事



▲新役員一同

長村上章氏、工学院理事長長山本清氏、西三板金連合会長毛利貞夫氏が挨拶された。

続いて平成13年度岡板のスローガンが発表された。①一人一年地球環境リサイクル、②一人一件挑戦しよう保証事業、③横着心手近なモノより確かな工具。以上3つが岡板の今年度のスローガンとして発表された。

休憩を挟みグループ討論会「組合活動・板金業これからどうする」を行った。昨年から2度目のグループ討論会であったが、肯定的なもの、否定的なものがあり前の様に意見として出された。組合長高柳氏が総括された様に、全参加者が討論に参加し意見を述べた事、その事自体がまずは良かったと言えるのではないだろうか。

討論終了後、いつもの如く懇親会に移り、様々な意見、雑談の飛びかう中、新副組合長加納氏の三本締めにて午後8時閉会となった。



▲退任された会計 鈴木二郎氏

岡崎 中西

2001.\$(エスアイ)研親会開催

二十一世紀最初の、池田商店「\$研親会・第18会総会」が名鉄ニューグランドホテルにおいて、2月4日(日)開催されました。立春とはいえず連日、低温注意法の出る寒い中にもかかわらず、120名(メーカー16名)ほどの出席があり午後3時より柴田幸治氏の司会により齊藤充昭氏の「開会の辞」により総会に入った。まず代表幹事の沼澤啓二氏が挨拶された後、「池田商店」池田社長が、お元氣な姿で、お礼の挨拶をされ議事に入った。12年度事業経過報告を山田平男氏により行われ、続いて澤田隆一氏により会計報告が行われた。本年度が役員改選の年に迎り役員改選の代表幹事一任との声により、



▲講演する尾車親方

現役員留任で全ての議事が終了し、留任された「沼澤代表幹事」が21世紀に向かっの益々の\$研親会の発展、協力を呼び掛ける挨拶をされた。続いて「メーカー商社」を代表して積水化学工業(株)名古屋営業所「白井恒男」所長が挨拶され総会の第一部が無事終了した。

小休止の後、二部の講演会に入り、本日の講師「相撲協会尾車親方」元大関、琴風氏が紹介された。皆さんご存じの様に「琴風」は津市の出身で若くして関脇に昇進、しかし不運にも左膝じん帯断裂の重傷に見舞われ、その後も膝の怪我に悩まされ、再起不能と迄言われた中、まさしく血のにじむ様な稽古により念願の初優勝、大関に昇進、その尾車親方だけでなく相撲界の壮絶な生き方、怪我をしても同情の無い、ましてや言い訳などこんでもない、努力しても結果(白星)が出なければダメ、こんな生き方を聞いて今の我々の業界での生き残りを考えさせられたのは私だけでは無かった事と思います。最後に国技を守る相撲協会の内情も世間と同じく厳しい様子を訴えられ相撲巡業への協力をアピールして講演を終了した。続いて部屋を宴会場に

移しての懇親会に入った。まだ尾車親方のお話の余韻が残る中、お酒に会話にとテンションも上がり、恒例のビンゴゲームに盛り上がった。余興として大須演芸場専属の伊東かおる氏によるものまねや、名古屋人も忘れかけたお世辞にも上品とは言えない名古屋弁に爆笑し午後7時半過ぎ、総会の全てが終了した。

熱田・南 伊藤

委託 訓練

愛知県における求人倍率と求職者のアンバランスを是正する方策とし、若年及び中高年求職者の就職向上をはかるため、昭和47年以降の住宅ブームで建築された住宅もリフォーム(管轄・修繕)の増大であることを見込み、今後不足するであろう建築技能者の養成が産業界、一般県民から高い需要が見込まれる状況である。このような状況に対応するため、現在離職中の休職者45才以上者に対しての、訓練を、愛知県連から、板金の訓練について、刈谷支部に依頼があり支部より4人(花井氏山本氏、岩室、伊藤氏)でおこなう事になり、平成12年10月10日、刈谷訓練校において、1回目の訓練が始まり、屋根カラーベスト、壁サイディングの作業などについて教室と作業場で訓練、2回目から現場訓練(3坪の屋根、壁)作業、まずは訓練生20名で10名ずつにわかれ訓練に入った。

る氏によるものまねや、名古屋人も忘れかけたお世辞にも上品とは言えない名古屋弁に爆笑し午後7時半過ぎ、総会の全てが終了した。

訓練に当り感じた事は人それぞれ、よく見てきいて行う人、別に1日くれば良い人など興味のある、訓練後自分の自宅(物置)など自分で修理をしてみたいと、思っている人は真剣な目で見て聞いてきますし、なに事にもやって見ようと言う事があり、心配やうらうれしいやら心が複雑で訓練がおわりました。

刈谷 岩室

十一口安全メモ

「事故を未然に防ぐ方策」

昨年は建設ブームの低迷の中で、依然として労働災害(死亡)は減少せず、建設業に限って什訳するならば、ワースト順に記述しますと次の通り
 一、墜落・転落……二九〇件
 二、交通事故(道路)……一〇二件
 三、はさまれ・まきこまれ……七十七件
 四、激突され……六十三件
 五、崩壊・倒壊……六一件
 となっており、愛知県の場合では、死亡数では全国では第三位で、二十七名の尊い命が失われている現状である。

昨年は、全国の死亡者の数は全産業では一八一六名となっており、尊い命が失われ、犠牲になられた方々には、心からご冥福をお祈り致します。

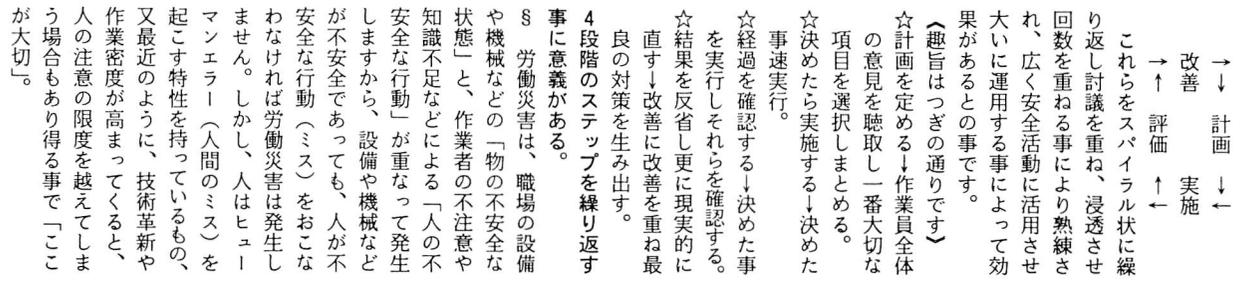
今一度作業現場に、事業者自らが自社の作業現場をパトロールして、再発防止のため指摘など含め、最善な方策を思考し、末端の従業員に至るまで、十分な再教育が必要不可欠さざるべき問題として、我々の仲間からは絶対に被災者を出さない様、最善の努力を傾斜して頂きたいと願うものです。

更に、新年度から我々の担い手として、学卒者、転職者が新たな技能の習得を求め、希望に満ちて入職される新人類、昔で言う(金の卵)新規入職者には、徹底した技能と安全教育が求められ、ルールを守り守らせる、習慣性を義務として身につけるよう指導を望むもの。

昨年は県板の組合員の中にも事故に遭遇された方々も、若干おられるとの報、一日も早く復帰され回復を願いたいものです。

さて、労働省においては、新たな安全活動の施策を導入し、労働災害を減少させる対策として、実際に取り入れ、大いに活用し、指導強化を図り、理解して頂ける様な指導を全国的に展開しているようです。

それは、OHSMS・とし頭文字であらわしている。(Occupational Health Safety Management System) サイクルとして、
 Plan (計画)
 Do (実施)
 Check (評価)
 Act (改善)



- ☆結果を反省し更に現実的に直す→改善に改善を重ねる最良の対策を生み出す。
- 4段階のステップを繰り返す事に意義がある。
- ☆労働災害は、職場の設備や機械などの「物の不安全な状態」と、作業者の不注意や知識不足などによる「人の不安全な行動」が重なって発生しますから、設備や機械などが不安全であっても、人が不安全な行動(ミス)をおこなわなければ労働災害は発生しません。しかし、人はヒューマンエラー(人間のミス)を起こす特性を持っているもの、又最近のように、技術革新や作業密度が高まってくると、人の注意の限度を越えてしまいう場合もあり得る事で「ここが大切」。

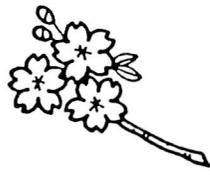


- ☆ヒューマンエラー防止の基本対策
- (A) 人間は気まぐれである。
 - (B) 人間は怠け者である。
 - (C) 人間は不注意である。
 - (D) 人間は根気がない。
 - (E) 人間は単調を嫌う。
 - (F) 人間はのろみである。
 - (G) 人間は論理的思想力が弱い。
- 人間はなにをするか分からない。
 したがって、ヒューマンエラー防止の基本は「本質安全化」、つまり、機械や設備に対して作業者がミスをしても危険な状態にならない構造(フルプルーフ)や、機械や設備などに異常が発生した場合、安全側に作動するようにした構造(フェールセーフ)が必要で、ヒューマンエラーを行う「人間の特性」を見つめ直して、設備や機械等の安全対策を実行して見よう。
- 最後になりましたが、人間の特性を充分に生かし、今年一年が無事故、無災害で乗り切れる事を切に願い一口安全の言葉と致します。
- 沼澤

雇用保険の新制度がスタート

平成13年から雇用保険制度が大きく変わります。

- 1、雇用保険の基本手当の給付体系が変わります。(平成13年4月施行)
 平成13年4月1日以降に離職される方については、離職理由により所定給付日数が異なる仕組みになります。それに伴い雇用保険被保険者離職証明書の様式が変わります。
- 2、再就職手当の給付額が変わります。(平成13年4月施行)
 平成13年4月1日以降に離職される方については、再就職手当の給付額が支給残日数の3分の1に相当する日数に基本手当日額を乗じて得た額となります。
- 3、雇用保険料率が変わります。(平成13年4月施行)
 雇用保険料率が一般の事業については、一五・五/一〇〇となり、(事業主負担分九・五/一〇〇)、被保険者負担分六/一〇〇)
- 4、パートタイム、派遣労働者の適用基準が緩和されます。(平成13年4月施行)
 パートタイム労働者、登録型派遣労働者の年収要件(年収が九〇万円以上見込まれる場合にのみ適用するという要件)がなくなります。
- 5、教育訓練給付の支給上限額が変わります。(平成13年1月施行)
 平成13年1月以降に受講を開始される教員訓練について、教育訓練給付金の支給限度額が三〇万円となります。
- 6、育児休業給付、介護休業給付の率が変わります。(平成13年1月施行)
 平成13年1月から、育児休業給付、介護休業給付の給付率が四〇%となります。
 ※ 詳しくは、最寄りの公共職業安定所(ハローワーク)にお問い合わせください。



津島支部新メンバー紹介

この一月より新たに二名の
新メンバーが加入された。

まずは、海部郡佐屋町の宮
田板金の宮田守朗さん、もう
一人は海部郡蟹江町の河野板
金の河野幸徳さん、共に板金
協会に既に所属されており、
知っておられる方もいると思
うが、お二人共跡取りの方が
一緒に仕事をされており、将
来が期待されるといふことで、
平野支部長の誘いもあり、今
回組合に加入されることと
なった。

おられるのだろうか。私も地
元の現場をいろいろ回ってい
ると、数多くの板金の看板を
目にするのだが、ほとんどが
顔も知らないし仕事の内容も
わからない。年輩の組合員の
方に向かがうと元組合員だっ
たとか、独立して一人で仕事
をはじめたとか話は聞けるが
それでもすべての事業所は把
握できていないだろう。実際
どんな人かわかったところで
仕方のないことかもしれない
が、同じ仕事をしていて道路
ですれ違っても知らない顔で
は何かさびしい気がする。

猪飼

豊田支部親睦ボーリング大会を開催

豊田支部（西俣章組合長）
は去る2月24日(土)豊田市元町
の美鳥里ホールに於いて恒例
の親睦ボーリング大会を開催
しました。参加者は17事業所・
69人でした。ゲームは午後7
時にスタートし2ゲームのトー
ナルピンで順位を争いました。
ゲーム終了後、場所をミートイ
ングルームに移して表彰式を
行い、男性の部1位福田益雄
氏(福田板金工業所)、女性
の部1位水谷泉さん(中根板

金)、子供の部1位今井博一
君(今井板金工業所)という
結果になりました。私も、家
族といっしょに一年ぶりに投
げさせていただきましたが、
結果は35位でした。今回の大
会で気が付いたことは、去年
までお母さんに抱っこされて
いた子が今年は重いボーリン
グのボールを一生懸命投げて
いたことで、回数を重ねると
いろんな事が見えてくるなあ
と思えました。組合企画委員

猪飼

会(河合澄夫委員長・鈴木昭
人氏・杉本忍氏)の設営、検
討により多数の組合員さんに
参加をいただき、横山興業(株)
始め問屋の方々もたくさん参
加していただきました。また、
賞品も盛り沢山(特にティッシュ
ペーパーの多いこと)でした。
参加された方全員が楽しまれ
たボーリング大会であったと
思います。

豊田 松井

名古屋板金連合会の 平成十三年総会 のお知らせ

名古屋板金連合会では平成
十三年度の総会を左記の通り
開催する。

日時 平成十三年
四月二十一日(土)

午後四時三十分

場所 名城会館

今年役員改選の年であり
各支部でも支部長の改選の年
に重なっていると思うので出
来だけ早く新役員を選出い
ただき連合会の役員について
も検討していただきますよう
お願いする。
総会には一人でも多くのご
出席をお願いします。 驚見

2月各支部の動き

千種支部 25日 支部三役会	江南支部 15日 例会
昭和三支部 8日 例会	津島支部 5日 定例会
西支部 24日 支部会	西春支部 18・19日 総会旅行
中支部 25日 長谷川氏祝賀会出席	岡崎支部 5日 青年部役員会
熱田南支部 15日 定例会	豊田支部 10日 第9回役員・班長会
尾張板金連合会 16日 役員会	刈谷支部 5日 役員会
一宮支部 14日 支部役員会	西尾支部 15日 役員会
18・19日 青年部研修旅行	知多支部 20日 県板新年会の反省
工場見学「ダイアラ」	東三支部 23日 支部組長会・理事会
春日井支部 8日 定例会	3日 定例会
セキ興産によるソー	17日 青年部定例会及び競
ラー説明会	19日 臨時三役会
役員会	27日 三役会
3名	6名
16名	13名
16名	20名
18名	25名
12名	12名
10名	10名
9名	73名
15名	16名
17名	48名
24名	43名
6名	6名
6名	17名
24名	48名
10名	10名

編集後記

早春の花だよりが聞かれる
頃となった。庭の紅梅白梅も
ほころび始め十羽くらいの
「めじろ」たちがやって来て
枝を飛び回り、可愛い鳴声と
姿で連日楽しませてくれてい
る。伝統行事の国府宮はだか
祭りも行われ、立春も過ぎて
奈良の二月堂お水取り行事が
終われば春本番は間もなくで
ある。二月末のある日、雪吊
りの写真を撮りに熱田区の
「白鳥庭園」を訪れた。本当
は雪化粧した「日本庭園と雪
吊り松」の風景が最高の絵に
なるのだがこの日は小春日和
で残念。家族連れ、写真マニ
アが早咲きの白梅や福寿草を
觀賞したり、見事な色合いの
錦鯉や水鳥に餌を与えたりし
ながら都心の静かな「池泉廻
遊式庭園」の散策を楽しんで
いた。この時期、県板では年
度末と新年度に向けた事務処
理や八委員会の見直しなどで
てんでご舞い。まして吉田事
務局長(専務)が病氣退職し
たこともあって、北出・今枝
両事務局長に大変な負担が掛
かっている。提出書類や申し
込みなどは早めにされるよう
協力を願いたい。

二月二十七日(火) 晴
三五八号 編集会議
委員 六名 出席
午後五時終了 (S)